

「新鳥取県史 資料編」「公文書館研究紀要」の刊行について

令和2年4月21日
公文書館

このたび、公文書館では鳥取県の歴史に関する調査・研究の成果をまとめた以下の書籍を刊行しました。平成18年度から令和元年度まで14年間実施した新鳥取県史編さん事業は、今回の刊行をもって予定していた資料編全22巻が完結して事業を終了し、今後はその成果や収集資料の活用を図ることとしています。

1 書籍の名称及び体裁・頒布価格

(1) **新鳥取県史資料編** *本文の内容を収めたCD-Rが付録に付いており、語句の検索が可能です。

◇『考古2 古墳時代』

(概要) 鳥取県内には約13,500基の古墳があり、全国で2番目に多い「古墳王国」です。本書には、このうち特に厳選した県内の248の主要な古墳・遺跡の概要や出土品、遺跡の意義などを図や写真とともに記載しています。これまで調査が不十分だった出土品等も再調査を行い、その詳細な図面を掲載するとともに、三次元測量・航空レーザー測量など最新の技術を用いて精密に作成した大型前方後円墳などの墳丘測量図や横穴式石室の実測図も掲載しています。

(A4判上製本 1044頁 7,000円)

◇『現代2 経済・社会・文化』

(概要) 本書には1945(昭和20)年から1999(平成11)年までの本県の経済・社会・文化に関わる基礎的かつ重要な資料を収録しました。終戦直後の経済的混乱、農地解放や教育の民主化、商工業の発展とインフラの整備、福祉・保健衛生の充実、わかとり国体の開催、文化財保護行政の展開等、現代の鳥取県が歩んできた道筋をたどる336点の資料をテーマごとに収録しています。

(A5判上製本 980頁 5,000円)

(2) 研究紀要

*紀要とは、研究機関や大学等で定期的に出す研究論文集のことです。

◇『鳥取県立公文書館研究紀要』第10号

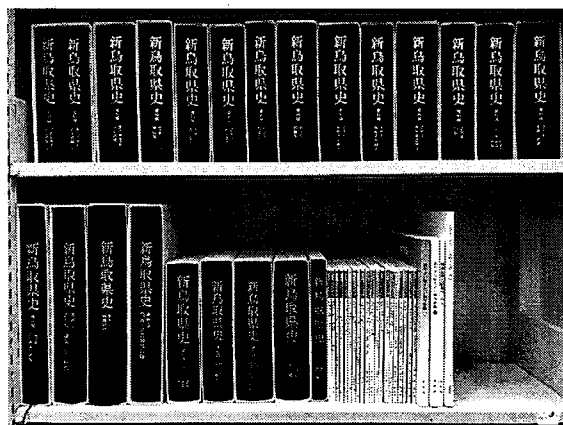
(概要) 本号には明治150年特別企画展記念講演会の講演録や対談、公文書の評価選別に関する事例報告、千代川水系の水害や鳥取大地震に関する論文等、あわせて7本の原稿を収録しています。

(A5判 95頁 500円)

2 頒布開始日 4月20日(月)

3 頒布窓口・頒布方法

- * 公文書館、県民参画協働課、各総合事務所、鳥取市歴史博物館等で販売します。
- * 県外の方や窓口での購入が困難な方には当館から直接送付させていただきます。その場合、銀行振り込み以外にクレジットカードによる支払いも可能です。



新鳥取県史編さん事業で刊行した書籍(全)

4 今後の取り組み

県史編さん事業の成果や調査収集した歴史資料等を活用するため、公文書館に新たに設置された「県史活用担当」を中心に関係機関と連携しながら、「ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業(新規)」を実施し、ふるさと教育や市町村事業への支援、収集資料の公開や成果物の刊行・講演等による成果の県民への還元や県内外への情報発信を行い、郷土の歴史文化を担う人材育成や県民のふるさと鳥取へ対する愛着や誇りの醸成を図るとともに、県の施策や魅力ある地域づくりに活用できる研究を行っていくこととしています。